

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 2月17日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102857
法人名	マイクロテスト株式会社
事業所名	グループホームそれいゆ学園前
所在地	奈良市学園朝日町7番9-1号 (電話) 0742 - 41 - 6400

評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成21年2月17日

【情報提供票より】(21年2月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 12 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	26 人	常勤 8 人, 非常勤 16 人, 常勤換算 7.9 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨・鉄筋コンクリート 造り	
	3 階建ての,	2 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	95,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(600,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	600 円
	夕食	600 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月20日現在)

利用者人数	17 名	男性	7 名	女性	10 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名		
要介護3	11 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.8 歳	最低	70 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	西奈良中央病院、中島クリニック、池元歯科医院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、私鉄の主要駅から比較的近い住宅地の中に位置しています。駅からホームまでの間に商業施設、公的機関の施設などがあります。周辺には、民家、公共団地、民間の高層マンションなどの住宅があり、その中で社宅を改装された3階建ての建物ですが、周辺の雰囲気には溶け込んでいます。1階には通所サービスが運営され、グループホームは2階3階にあり、ゆったりとした居住空間で、馴染みの職員とともに、日常的な地域との交流をベースに思い思いの生活を営まれています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議については、メンバーに対する理解を深めるため、地域との交流を図り連携を密にする取り組みを強化し、会議では、外部評価結果やサービス提供状況等の報告及び地域との関わり等について話し合われています。また、同業者との交流を通じた向上では、今なお管理者中心の交流となっておりますので、今後一般のスタッフも参加できるような集いになるよう期待します。なお、重度化や終末期に向けた方針の共有については、その必要性を認識し、準備段階にありますので、実現が期待されます。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を全職員で行い、サービスの向上に努め、評価結果はミーティングで報告し改善に向けて具体案の検討や実践につなげるようにされています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、外部評価結果やサービス提供状況等の報告をはじめ、地域との関わり等について話し合い、そこでの意見をサービスの向上に活かすよう取り組まれています。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の訪問時に、相談や報告の機会を持たれています。広報紙などを定期的に発行し、ホームページによる随時の情報提供、また協力医から直接、家族へ医療面の報告がなされています。家族の面会時に、コミュニケーションを心がけ、家族の希望や意見を直接聞くよう努められています。運営推進会議にも家族が参加され、出された意見・要望等はミーティングで話し合い運営に反映されています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会の一員として、清掃活動や行事には積極的に参加し、地域の小学校と幼稚園との定期的な交流や散歩コースの清掃活動などに取り組まれています。また、地域開放の介護予防教室などを開催されています。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域生活の継続支援とホームと地域の関係性強化を謳った理念が作られています。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの見易い場所に理念を掲示し、全職員の意識統一を図り、実践に活かすようにされています。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の一員として、清掃活動や行事には積極的に参加し、地域の小学校と幼稚園との定期的な交流や散歩コースの清掃活動などに取り組まれています。また、地域開放の介護予防教室などを開催されています。		
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で行い、サービスの向上に努め、外部評価結果はミーティングで報告し改善に向けて具体案の検討や実践につなげるようにされています。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、入居者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、メンバーを幅広く選任し、定期的開催されています。会議では、外部評価結果やサービス提供状況等の報告をはじめ、地域との関わり等について話し合い、そこでの意見をサービスの向上に活かすよう取り組まれています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者には定期的に訪問し、ホームの現状の報告や課題について相談・質問等積極的に行われています。また、地域包括支援センター合同による「西部地区ネットワーク」に定期的に参加し、情報交換の機会を持たれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に、相談や報告の機会を持たれています。広報紙などを定期的に発行し、ホームページによる随時の情報提供、また協力医から直接、家族へ医療面の報告がなされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に、コミュニケーションを心がけ、家族の希望や意見を直接聞くよう努められています。運営推進会議にも家族が参加され、出された意見・要望等はミーティングで話し合い運営に反映されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を重視し、2つのユニットの交流を多くして、それぞれのスタッフと馴染む機会を持たれています。また、新任の場合は馴染みの職員と一緒に関わり、入居者へのダメージ防止に配慮すると共に、家族の訪問時に紹介されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得を支援し、ホーム内外の研修や勉強会への参加の機会を確保されています。また、新任職員の研修は、経験のあるスタッフに付いて、スムーズに業務に入っていけるよう工夫されています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム協会に入会し、その会を通じ近隣のホームと定期的な交流と研修の場を持たれています。	○	現状では、管理者中心の交流となっていますので、今後一般のスタッフも参加できるような集いになるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設の通所サービスの利用や体験入居を行う等徐々に馴染めるよう工夫されています。		
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	信頼関係を深め、入居者の出来ることを共に行い、楽しみや悲しみを共有・共感できるよう支援されています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の動きや表情に気配りし、希望や意向を把握されています。分かりにくい時は、家族やスタッフ間で話し合い、意向の把握に努め本人本位に検討されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフ間で話し合い、本人・家族の意向や協力医の意見も加えて、介護計画を作成されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、3ヵ月ごとの定期的な見直しの他、入居者の状態の変化に応じて、医師・家族と連絡を取り、その都度見直しされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関への受診の通院支援や入院中の訪問・衣類の洗濯交換などの支援をされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医の他、希望者には入居前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう支援されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期における本人・家族の意向を把握すると共に、状態の変化に応じて、家族と連絡を取り、医師との連携の上、スタッフの間で方針を共有し、可能な限りホームで生活できるよう支援されています。		重度化や終末期に向けた方針の共有の必要性を認識し、実施に向けて関係機関と検討する等準備段階にありますので、実現が期待されます。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報は、各ユニットの事務所のロッカーに保管されています。入居者一人ひとりのプライバシーに配慮し親しみを込め適切に言葉かけされています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはありますが、入居者のペースを大切に、状態や思いに沿って柔軟に支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者はスタッフと一緒に、同じものをゆったりと話しながら、食事が楽しめるよう支援されています。入居者それぞれの能力に応じて、配膳下膳、食器洗いなど、スタッフと一緒にされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、入居者の身体状況や希望及び気分に合わせて、柔軟に支援されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	植物への水遣り、食事の手伝い、買い物への同行など、入居者の特性に応じた役割や楽しみの方が提供されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎朝の散歩、日光浴、園芸作業、買い物、理髪店、通院支援等外出の機会があります。また、小学校・幼稚園への定期的な交流、自治会の行事への参加も日々の生活に織り込まれています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関ドアは、入居者の安全への配慮から、入室は自由に出来ますが、退出は職員が鍵を操作・同行するようにされています。	○	今後、鍵をなくす方向で検討されていますので、出て行く気配を職員が見落とさない見守りや連絡プレー及び入居者一人ひとりの外出の癖や傾向を把握し対応する等、安全面に配慮して自由な暮らしを支援する工夫を期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、年1回の防火訓練を実施されています。消防署へのオンライン通報システム(2箇所)を設置し、消防計画・緊急連絡網が整備されています。災害に備え、食材の備蓄と屋上の水槽(タンク)等確保されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の栄養や水分摂取量を記録し、把握されています。また、リビングに常時お茶を用意し、水分摂取の機会を確保するための工夫が見られます。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、入居者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>窓は、外の住宅が目に触れるように設えてあり、開放感があります。リビングは、ソファやテーブルが置かれ、入居者が、思い思いに過ごせる場を確保されています。トイレ、キッチンと事務所がリビングに直面しており、入居者もスタッフもお互いの動きや位置がよく分かるようになっています。</p>	○	<p>リビングに続く、北側の居室に面した廊下に、キッチン関係やその他の備品が置かれていますが、安全面や視覚にも配慮した工夫が望まれます。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、本人や家族の思いの込められた家具や飾り物が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫がなされています。</p>	○	<p>衣装ケース等がそのまま置かれている居室もありますので、収納スペースを確保する等、居心地良く過ごせるよう工夫されることが期待されます。</p>